

## 北蟹谷地区意見交換概要

日時 平成 30 年5月 29 日(火)

場所 北蟹谷公民館

出席 63 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	イノシシ対策について、県の補助事業をお願いしてあったが、恒久柵の設置に補助がつかなかった。小矢部市の恒久柵については、県の補助事業に認められなく残念だ。北蟹谷のイノシシは民家の近くでも出ているので、大変危ない。市としてもイノシシ対策に力をいれていると思うので、恒久柵の設置について計画的に進めてほしい。	イノシシ対策については、しっかりと要望に応えていきたいと思っている。市にとって大きな課題であり、対策に取り組んできているが、市単独でのイノシシ対策は難しく、県にも働きかけている。呉西6市でも、イノシシ対策は大変重要な問題となっている。恒久柵の設置について、まずはモデル地区でやっていきたい。
2	県道の整備や橋梁整備を要望したい。北蟹谷地区の道路や橋梁の危険箇所を整備していただき、安心・安全なまちづくりを推進してほしい。	道路、橋梁は、安心・安全なまちづくりには一番重要であるので、しっかりと関係機関に要望していく。市ですところは、しっかりと対応していきたい。
3	統合こども園となり、北蟹谷保育所は閉所となる。北蟹谷地区は高齢者が多いので、保育所跡地を活用して蟹谷地区で介護予防のモデル事業をしてもらいたい。	公共施設の再編計画では、統廃合の施設は現時点では基本的には解体か売却となっている。しかし、当然、地元と協議していくことになるので、みなさんからいろいろな意見を聞きたい。
4	2年前に、7時台の電車が座れないと要望した。市長、市議会議員から、あいの風とやま鉄道に要望してもらい、今年の3月ようやく7時5分に石動始発という電車ができた。大変感謝している。100 名弱の人がその電車を利用されている。1本増えたから終わりではなく、今後も引き続き増便されるようお願いしたい。	みなさんからの強い要望をいただき、あいの風とやま鉄道に7時台を1本増やしてもらった。今も、もう1本何とか増やしてほしいと強く要望している。新しい石動駅ができると、利用客が増えると思っている。
5	11 月に新石動駅ができるということで、大変期待している。現在の石動駅のトイレが非常に悪い。汚さ・臭さは大変なものだ。アウトレットができて、県内外の人が利用される。改善できるなら、お願いしたい。	トイレについては、汚いと言われている。また和式を洋式にしてほしいとも言われている。何とかしたいと思っているが、11 月に新しいトイレができる。一度、現地を確認して検討したい。
6	中部北陸自然歩道の整備をお願いしたい。	ぜひ、整備したいと思っている。総合計画の中に大切な観光資源として位置づけたい。
7	市の医師会で、訪問看護・訪問介護をされている。市内全域の高齢者の世話を6人でされていると聞いた。高齢者が増えてきている中で、6人が適切なかわからない。非常に不安を感じた。	訪問看護・介護は、医師会でされている。スタッフの状況を、医師会に確認したい。市にできることがあれば、医師会と連携していくことになる。

No.	発言要旨	市長回答要旨
8	今年度からイノシシの処分については、月曜日から金曜日までは、焼却施設へ持っていくことになり一歩前進したと思っている。掘って埋めることは大変なので、本当によかった。しかし、土日祝日は、施設が使えないためイノシシの捕獲は止めてほしいと言われている。できれば、土日も捕獲できるようにしてほしい。	他の地区でも同様の意見がある。持ち帰って、検討したい。
9	先程から、みなさんがいろいろな要望をしている。人口減少や環境の変化により、予算確保も大変になってきている中で、すべての要望を実現するのは、困難だと思う。何でも要望するのは通用しなくなるので、市民に市の財政状況を理解してもらい市民の意識を変えていくことも必要だと思う。	事業をするために、財源をしっかりと確保して進めていきたい。ただ、人口減少により、生産人口も少なくなる。小矢部市の場合は、個人税収の割合が大きいので、健全財政の維持に十分に配慮しながら、事業を行っていくことが重要だと思っている。地方交付税の減額に歯止めをかけたい。交付税が減ってきており、非常に苦しい財政状況になってきているが、そのなかでも市民のみなさんの生活の質をあげていきたいと思っている。企業誘致をすれば、雇用も生まれ賑わいも創出されるので、しっかりとしていきたい。
10	宮島や南谷も含めて、小水力発電の構想を市で検討された経緯があると聞いている。当地区も中山間地である。原発問題やエネルギー問題でも、小水力発電等について、中山間地を上手く活用できると思う。中長期的に市で、検討してほしい。	エネルギーの地産地消という意味では、絶対に必要だと思っている。第7次総合計画に盛り込みたい。しかし、小水力発電を検討しているが、傾斜などの問題もあり難しいと聞いている。エネルギーの地産地消ということも、検討していきたい。
11	今年の大雪で、太陽光発電が相当ダメージを受けた。五郎丸の大きな発電所が壊滅状態だった。市として、発電設備の検査や基準や規制などがあるのか。壊滅的になっている設備がそのまま存在していることが非常に不思議だ。大きな電力事故にもつながる心配もある。市として、基準を設けて規制することも必要だと思う。	太陽光発電は、大雪でダメージを受けていた。現地見て状況はわかっている。設置補助はあるが、修繕の補助は市からは出せないということも伝えた。強度などの設置基準などは、市では持っていない。調べて、返答させていただく。
12	フロンティアパークだが、非常に寂しい状況だ。規模も小さいので、第2フロンティアパークの計画はあるのか？	フロンティアパークは、分譲率は 95%であり、小さい区画が2つ残っているだけだ。先日も製薬会社の竣工式があり出席した。完売までは、あともう少しだ。中小企業基盤機構がフロンティアパークを整備したが、中小機構が新たな団地を造ることは難しいと言われている。市としては、分譲率を 100%にしたいと思っている。新しい団地については、企業が小矢部市に来たいというアクションがあれば、市でオーダーメイドの団地を整備していくことになると思う。